



広報

たしろ

No. 473

平成 5 年

1月号

平成 5 年 1 月 1 日発行

田代町役場企画管財課編集 肝属郡田代町麓827番地 1



今年は酉年

飛躍に期待

四年に飛躍を 新年のごあいさつ

田代町長

近世田代の黎明である新春を迎え町民の皆様、ふるさとを遠く離れ異郷の地で生活をされてお暮らしの皆様、新年おめでとうござい

ます。輝やかしい平成五年の幕明け年頭にあたり、町民の皆様のご健勝とご精進を心から謹しんでお祝い申し上げます。

先人が血と汗と涙して築いた郷土田代町をより豊か



田代中大規模改修

実績五億円を突破しましたことは永年にわたる生産農家の皆様の努力の賜ものと深く感謝申し上げます。たばこ作も豊作で収量増と良い品質で高い価格で取り引きされ二億二千万円の収益を挙げています。

春力ボチャ、秋力ボチャも、東京の大田市場で高い評価を受け園芸作全体の販売額一億一千万円余、そして畜産物も貿易の自由化に負けず仔牛三億一千万円余、肥育牛一億一千万円余、ブロイラー十八億三千万円余の販売額で、高品質の優れた産物で目標額に達し、農畜産物の総販売額三十三億九千万円余で、前年比五割の伸びを示していますことは喜ばしいことです。

誘致した企業の田代日昌株式会社は、株式会社が廃業することになり、株式会社コスモス（本社東京都）が継承し、自社生産販売の一貫経営で、婦人のスラックスを生産することになりました。平成三年度の明るい話題として、林産部門、緑化功労で内閣総理大臣ならびに

に発展、躍進させるため、渾身の力を振り絞り「活力に満ちた、緑と心の豊かな町」若者に夢とロマンの里を建設し、二十一世紀を担う若い世代に継承する責務を、ひしひしと肌で感じ痛感するものであります。

顧りみずと昨年は、町制施行四十一年に向けてのスタートの年であり、県の総合振興計画、町の総合振興計画、基礎地域活性化計画との整合性を保ちながら、あらゆる施策を挙げて参りました。

しかしながら、国内外の経済情勢は特に厳しく、パブルが崩壊し、経済は今世紀最大のピンチを迎えています。このツケは私共の町にも波及し、経済の建直しに全力を傾注し、町民生活の安定に努力いたす覚悟です。更に、町の活性化をはかるために各種の事業を実施しています。

老人福祉対策としてデイサービスセンターを設置、運営は社会福祉法人誠心会に委託、デイサービスセンター南松園として三月に発

足し在宅老人の方々のよりどころとして嬉ばれています。

又老人福祉法などの改正で、今まで種々の許可可の決定権は国、県でしたが、地方に責任がまかされるようになり、今度の地方自治体には大幅な権限をもたせて、それがはたしてうまくできるだろうか」という声も多くあると思います。

しかしお互の故郷でありますので逃れることはできません。そのような苦しみや難関がありましようとも私達はこの時代に生まれた以上、住みやすい明るい豊かな郷土を築くため、町民一体となって力を合せ、ひとつの物を二人で分け合う心の原点にかえらなければなりません。

老人福祉法に基づく福祉の措置として、町老人保健福祉計画を作成することになっていきます。この計画に健やかで活力に満ちた地域づくりを目指し、町民ひとりひとりが「自分の健康は自分でつくる」と云う強い自覚をもち、生きがいをも

って生活できる「すこやかで心豊かな長寿社会」の建設を町民総ぐるみで進め、在宅福祉の「高齢者保健福祉十ヶ年戦略」をふまえ、町老人福祉センターならびにデイサービスセンターの活用、給食サービスの充実など、攻めの福祉への転換とお年寄りや障害をもっている社会的に弱い立場にある方々が、家庭や地域で思いやりと助け合いの心で支え、充実した人生を送ることができるよう「心のこもった福祉社会づくりを目指し、きめ細かな配慮のもとに二十一世紀を展望したい。

この福祉の施策ほか田代中学校の大規模改修、林道横掘線の開設、郷ノ原、栗山区の圃場整備、肝属南部の農地開発（原沢ノ後）道路網の整備などの工事も順調に進展しています。

昭和五十六年から改良整備が進められていた、本町を通る、国道四四八号、新田、内ノ牧工区八、〇七九mが完成昨年十月十四日開通式が行なわれました。



林道横掘線開設

平成元年には、本町で唯一の三七四mの新田トンネルが完成、大原地区と麓地区の地域間の格差がなくなり田代が一つになりました。昨年の農畜産物は、八月に台風十号が接近、鎌入れ直前の早期水稲が、大きな打撃を受け、台風十一号による長雨で早期水稲の収穫に大変な苦労があったことと存じます。今後はあらためて作付体系の改善をはかる必要があります。

その他の作目は、台風一回も遭遇せず気象条件に恵まれ「柿」を除いては順調で、特にお茶は農協共販

皆様ひとりひとりが幸福になることが、町の活性化と発展につながるものと確信しています。

平成五年酉年が飛躍の年として期待をかけ最も輝しい年でありますと同時に、ご健勝で幸多い年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

田代町議会議長

町民のみなさん新年明けましておめでとうございませう。昨年中は議会運営に対し、ひとかたならぬご協力をいただき有難うございました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



議会本会議

平成五年の輝やかしい新春をみなさんと共に迎えられますことは、私の最も喜びとするところです。

みなさんそれぞれのご家庭で抱負や計画を樹てることが大変重要なことではないでしょうか。昨年は激動の一年でした。国内外で思いがけないほど、重大なできごともあり、パブル崩壊等、牛肉、米の市場開放問題をはじめ、農産物輸入攻勢の下に厳しい時代を迎え、それがそのまま私達の生活周辺まで影響を及ぼしてきた一年ではなかったかと思ひます。加えて農村の高齢化、後継者不足は将来に不安を投げかけていることであります。

世界の状況、国内経済のめまぐるしい変化こうした社会変動のなかに、みなさんの声を的確に町政に反映させるため、私共議会は新たな年を迎え最大限の努力をし、本町総合振興計画を理念として地域経済の活性化と各般の施策を推進し地域の発展に寄与していかねばなりません。昨年は

台風十号による災害も心配されましたが、基幹産業である茶、たばこ、米の生産額は計画以上で農家の経営安定がはかられたと思ひます。林業経営においては低迷する木材不況が以前として続くなかで産地型林業構造改善事業による第三セクターによる南大隅国産材加工センターも一応軌道に乗り林家所得の増大が期待されています。

肝属南部総合農用地開発事業は順調に工事も進捗し、二十一世紀を目前に控え食糧基地として産業基盤の整備、国際化への対応が不可欠とされています。

交通体系の整備につきましては、農林道の整備はもちろん、国道四四八号は一部を残して完成、大隅縦貫道として役割を果し、南大隅地域の地場産業の振興を左右する鹿屋・吾平・佐多線（中央線）の国道昇格早期整備の陳情、肝属地区広域営農団地農道の事業促進、これらの大型関連事業の目標達成は重要であり、豊かな郷土づくりのため議会と

いたしましても、国、県に強く要望しながら事業の拡大を進めていかなければなりません。

更に生活関連施設等の整備の促進、高齢化対策に対応した福祉の充実、地域の特性をいかした地域づくりを徹底し財政運営を強いられている現実ではあります。が尚一層の努力をしていかなければなりません。

私共議員は三年目を迎える町民の幸福が第一主義であり、そのため夏は住民に日陰をゆずり、冬は暖かい日向を住民にゆずるといった理念をモットーとして行動し議員の信条とすべきものと考え懸命なる努力をいたしたいと考えます。町民の方々の協力なくしては何か一つ解決することは不可能です。今年もより一層の足腰の強い躍進の年となるよう、みなさんと共に歩いて参りたいと思います。

この一年がみなさんにとって実りの多い年であると共に、ご健勝とご多幸をお祈りしてごあいさついたします。

二十一世紀へはばたけ！若者たち 新成人おめでとう

これからの自分

郷ノ原 尾長谷 裕志



時の たつの は早いもので、私も成人式を迎える事ができました。今こうして成人の仲間入りができる事を大変うれしく、そして有難く思います。

この20年もの間、陰になり日なたになって育ててくれた両親、また、いろいろな知識を与えてくださった先生方・諸先輩方、苦しい時も一緒に助け合った友達、その他、私の周りのいろいろな人達の御陰だと感謝の気持ちで一杯です。

今、振り返ってみると、長かったようで短かった20年、様々な出来事が思い出されます。小・中・高校で

は団体行動の難しさ、大切さ、そして多少の善悪まで知ることができました。しかし、これからは学ぶべきことがたくさんあります。高校を卒業して二年、社会という大海原に出て、学生時代とは違う社会の苦しさ、厳しさを知りました。それまでは、辛い事を両親や友達に頼り、苦しい事から逃避していたような気がします。これからは、困難にぶちあたっても、自分で道を切り開き、突き進んでいきたいと思っています。もし、自分で何をするべきかわからなくなっても、あせらず立ち止まって自分の位置を確かめ、一歩一歩進んでいきたいと思っています。

十代の頃は人前に出る事がとても苦手で、自分の気持ちを伝える事ができませんでした。今でもまだそういう所があります。が、これからはもっと自分

の個性を見つけ出して、少しずつでも自分を表現できるように、そして何事にも挑戦する積極的な自分になりたいと思います。

今後、自分の人生がどうなるかわかりませんが、一度しかない青春時代を思い切りエンジョイし、悔いの残らないように充実した満足のいく生き方をしていきたいです。

諸先輩の方々、これからもよりよい御指導をよろしくお願い申し上げます。

二十才を迎えて

鳥淵 鳥淵 さおり



時の 早さは驚くもので、私ももう20歳を迎える事となりました。私の育ったこの町、田代町も時代の流れに伴い、段々と変わっていくと思います。

私は、現在、看護婦として病院に勤務しています。なぜ看護婦になりたいと思

て実社会に出て、いろんな事がさほど苦にならなかったのです。考えてみると、あの時の厳しい寮での生活は、本当の意味での私達に対するやさしさだったのではないかと思うのです。

そして、看護婦の資格をとり、貴重な体験した高校を終え、今の病院に就職しました。すること為此と全て新鮮でした。今では二年が過ぎようとしています。祖母が亡くなった時に感じた事は、今でも強く残っています。二年の間、自分自身に悔しさや腹立たた事が多々あり、その度に未熟さを感じています。しかし、看護の道に進んだ事は後悔していません。進んでよかったと思っています。

看護婦はよく「天使」だと言われますが、逆に私にとっては患者さんが「天使」に見えるのです。こうして続けていられるのも、患者さんが頑張ろうとする姿勢や、退院していく時のあの笑顔があるからです。

私は、これからも更に頑張っていくと思います。

△荒茶共販額五億円を突破

念願の目標達成を祝う

田代町の荒茶共販額が、今年念願の五億円を突破し記念大会が十一月十六日開催された。

本町の荒茶共販の本格的な取り組みは、昭和四十九年から始まり、その後面積の拡大や生産基盤の整備、一元集荷体制の充実により昭和五十五年には共販額三億円を達成したが、共販額五億円達成までの道のりは長く、晩霜による減収等一喜一憂しながらも、町茶業振興会を中心とした茶生産農家の農協共販に対する理解と、共販への取り組みや意識の統一、茶生産拡大に傾けた情熱と努力の結果だと確信している。

ここ数年本町茶業の業績は目を見張るものがあり、一昨年は鹿児島県茶業振興大会を本町で招致開催し、茶の品評会等でも多数が上位入賞、特に県茶経営改善コンクールでは一昨年は産地賞昨年が準産地賞と田代



記念大会

茶の銘柄確立も進展し定着してきている。

記念大会はJAなんぐうが主催し、町と町茶業振興会の協賛で、生産者や関係者多数の参加を得て盛大に挙行され、次の目標である八億円の早期達成にむけて集団化と面積拡大、低コスト、省力化、一番茶の生産向上などの重点事項と共に、茶づくりの基本技術を再認識し、消費者ニーズに合った良質茶の生産にむけ、関係者が一丸となって取り組みを強化することを確認した。

農協（田代支所）荒茶共販実績表

年 度		昭和55年	平成 3 年	平成 4 年	伸び率 %	
					55年比	3 年比
一番茶	数量	80,983	109,062	101,754	125	93
	単価	2,763	3,049	3,489	126	114
二番茶	数量	59,017	63,202	84,972	144	134
	単価	1,064	1,450	1,588	149	110
三番茶	数量	31,152	32,153	56,683	182	176
	単価	781	842	991	126	118
合計	数量	171,152	204,417	242,847	141	119
	金額	310,932	451,355	544,235	175	121
三番茶	数量	1,817	2,208	2,241	123	101
	単価	118	133	135	114	102

地区別町政座談会

開催

小組合長連絡協議会の御協力を得て、むらづくり地区別の町政座談会が開催され、多くの皆さん方の御意見や要望が出されました。座談会は、各地区小組合連協理事さんのあいさつの後、町長から町政全般について説明があり、前もって皆さん方から提出されてい

ったのか？。小学校・中学校時代、これといって特別な職業はありませんでした。とにかく福祉関係の仕事には就きたいと考えていました。

そういう気持ちの中で、看護婦への道を決意させたのは、父方の祖母の死でした。それは中学二年の年の瀬も押し寄せた12月中旬の頃でした。その日は、霜の強い本日に寒い朝でした。トイレに起きた祖母は、そのまま「クモ膜下出血」で突然倒れたのです。もし私に看護婦のような知識が充分あったら……と、14歳の子ども心にそう強く感じたのです。

その後、高校の衛生看護科に進学しました。今までぬくぬくと親元で育ってきた私は、厳しい寮生活の中で「忍耐」「上下関係のけじめ」「責任」、そして「一つの大きな集団の中で団体行動をしていくことの重要さ」など学びました。在学中は、規則に対し「なぜそんな事をするのか。」と反発していましたが、卒業し

ました意見を発表し、これに答える方式を採用いたしました。主な要望・意見・参加者は次のとおりでした。

- ◎大原地区（男三十二名 女二十四名計五十六名）
- ◎産業経済関係
町道や河川の改修、新田川橋渠新設等について
- ◎福祉関係
大原地区に多目的な福祉施設を作ってほしい
- ◎教育関係
大原地区運動広場を作ってほしい
有線放送の改修や町営住宅を大原地区にも作ってほしい
- ◎体育館の改築やプールの設置をしてほしい
養護教員の採用と英語教員を派遣してほしい
- ◎鹿地区（男二十九名 女十七名 計四十六名）
- ◎産業経済関係
国道四四八号線の補修を急いでほしい
- ◎福祉関係
町道清掃と管理について
一人暮らしの老人緊急システム化と在宅福祉について
- ◎教育関係

一億円創生資金を使った
研修実績について
公民館改修や森林公園整
備について

上部地区（男三十名
女二十一名計五十一名）

◎産業経済関係

農業従事者が高齢化して
いる今後の農業経営をどう
進めるか又水田の排水対策
は出来ないか
農道の整備もはかってほ
しい

◎福祉関係

生活排水の処理に問題が
あるので合併処理槽の補助
率アップをしてほしい。

◎教育関係

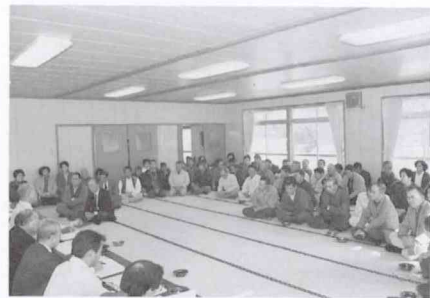
小学校のプールの改修を
はかってほしい
表木地区に老人子供のふ
れあいが出来る公園を作っ
てほしい

花瀬地区（男三十五名
女三十二名計六十七名）

◎産業経済関係

本町の特産品の現状と観
光開発について
農業後継者問題と花嫁対
策について

今後の農業経営がゆとり
あるものにするため農事組



町政座談会

合法人や有限会社組織は考
えないか

低コスト農業のため大型
茶工場や乗用摘採機の導入
共同利用組合の設立は考え
ないか

園芸作の振興や畜産振興
方策について

◎福祉関係

福祉ふれあい施設の設置
について（計画、利用方法）

◎教育関係

ミニ体育館の設置と青少
年健全育成について
結婚式の簡素化やイベン
ト開催について

川原地区（男五十四名
女四十名 計九十四名）

◎産業経済関係

集落道や農道整備につい
て

河川整備を急いでほしい
林道開設について

◎福祉関係

老人福祉施設の増設と独
居老人対策について

◎教育関係

体育館やナイター施設が
ほしい
集落通学路の照明が必要
な箇所がある
環境美化のため使用済生
活用品のリサイクル運動は
考えてないか

献血功労者に銀色

有功章贈呈

日本赤十字社より、四名
の方々が献血三十回以上の
功労に対して、銀色有功章
を贈呈されました。

今後とも献血に御協力を
お願いいたします。

◎銀色有功章

大垣 守 原 沢
南園 高樹 上 柴 立
安田 憲次 麓 住 宅
富尾 俊一 上 柴 立

◆民生委員一斉改選に伴う新民生
委員及び退任委員の紹介

去る十一月三十日をもっ
て任期満了に伴い八名の再
任と一名の新任委員が決ま
りました。
尚、新任委員、再任委員
は、次のとおりです。

- 1 竹之内 嫡夫（橋ノ口）
（再任）民生委員歴十一年
 - 2 野本 清（盤山）
（再任）民生委員歴十年
 - 3 新村 フミ（西大原）
（再任）民生委員歴二十一年
 - 4 林 正美（上柴立）
（再任）民生委員歴九年
 - 5 小川 春夫（山ノ口）
（再任）民生委員歴四年
 - 6 白桃 晋（原沢）
（再任）民生委員歴五年
 - 7 久保 富子（鶴園）
（再任）民生委員歴七年
 - 8 牧原 タミ子（長谷）
（再任）民生委員歴六年
 - 9 中野 官（内ノ牧）
（新任）前民生委員歴六年
- （原沢、池野、瀬戸口）
（猪鹿倉）
（早瀬、郷ノ原、辺志切）
（鶴園）
（山下、岩崎、表木）
（折小野、山ノ口）
（新田、内ノ牧、重岳）

・新民生委員、退任
民生委員の横顔！

中野 官 氏



新民生委員

田尻 静雄 氏



退任民生委員

以上、再任された八名の
民生委員と新しく民生委員
に就任された中野氏の御活
躍を期待します。
又、退任された田尻氏に
おかれましては、長年民生
委員として町行政のパイプ
役として地域福祉の向上に
功献していただき、深く感
謝いたします。
大変御苦勞様でした。

木場 忠さん

平成四年度（第31回）

農林水産祭で
内閣総理大臣 賞受賞
農林水産大臣



農林水産業者の最高の栄
誉である平成四年度農林水
産祭の内閣総理大臣賞、農
林水産大臣賞の表彰が、勤
労感謝の日の十一月三日挙
行の農林水産祭優秀農林水
産業者表彰式典（於明治神
宮会館）で行なわれ、木場
忠さんが、林産部門で栄え
の内閣総理大臣賞と農林水
産大臣賞を受賞されました。
木場忠さんは、教職現役
当時より、退職後を単なる
年金生活者で終わらすので
はなく、生産的生活を送り

新村さんご夫妻

新嘗祭に献穀

西大原集落の新村進様ご
夫妻が、去る十一月五日、
鹿児島県を代表して出席さ
れ皇居で新嘗祭にお供えす
る自分で生産された精米一
升、精粟五合を献穀され、
天皇、皇后両陛下にご会釈
されました。
誠に田代町にとっても名



皇居賢所で記念撮影

誉なことです。

一 精米 壹升
一 精粟 五合

右 献穀新嘗祭之節

御供進被爲在候事

平成四年度十一月二十五日

掌典長 小出英忠

新村 進 殿

お知らせ

一月一〇日は

『一一〇番の日』

☆「一一〇番はこんな
時に利用しましょう。」
○けんか、泥棒にあ
った。

○交通事故にあった。
○暴力団におどされ
た。

○変な人につけられ
た。

○不審な人がうろつ
いている。

○手配中の犯人を見
た。

☆「一一〇番通報五つ
のポイント」

○何がありましたか
けんか、事故……

○いつ、どこで、
時間、場所……

○犯人は、
人相、着衣……

○何で逃げたか
車のナンバー
塗色……

○あなたの住所氏名
等
一一〇番通報は、
落ちていて正確に

平成五年度

川原保育所入所

申請受付について

平成五年度川原保育所入所申請の受付を一月五日より二月末日までいたします。申請書は役場民生課及び川原保育所に準備してあります。

なお保育所の入所には、基準があります。次の基準に該当する場合に入所できます。判らない点がございましたら役場民生課福祉係までご連絡下さい。

①（家庭外労働）児童の母親が昼間家庭の外で仕事をすることが普通なので、その児童の保育ができない場合。

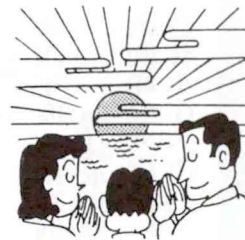
②（家庭内労働）児童の母親が昼間家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をすることが普通なのでその児童の保育ができない場合。しかし父親がその仕事に従事している、かつ、そのための使用人がいる家庭は除かれる。

③（母親のいない家庭）母親の死亡、行方不明、拘禁などの理由により母親がいない家庭の場合。

④（母親の出産等）母親が出産の前後であったり、病気であったり、心身に障害があったりするので、その児童の保育ができない場合。

⑤（病人の看護等）その児童の家庭に長期にわたる病人や、心身に障害のある人があるため、母親がいつもその看護にあたっており、その児童の保育ができない場合。

⑥（家庭の災害）火災や風水害や地震などの不幸があり、その家庭を失った、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。



所得税の確定申告は

正しくお早めに

平成4年分の所得税の確定申告の受付は、2月16日(火)から始まります。申告期間は3月15日(月)までの1か月間です。確定申告は、税務署から指定された相談日などにできるだけ早くにお済ませください。期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談ができなかったり、長時間待たされたりします。

なお、申告するときは、次のことに気をつけてください。
・税務署に所得税の確定申告をすれば、個人の住民税及び個人事業税の申告は不要になります。この場合、所得税確定申告書の「住民税・事業税に関する事項」の欄に、必要な事項を必ず記入してください。
・事業所得、不動産所得、山林所得のある白色申告者は、確定申告書に「収支内訳書」を添付することが義務付けられます。

▽詳しくは、最寄りの各税務署、県の各総務事務所・県税事務所・各支庁財務課又は各市町村の税務課へお問い合わせください。

お知らせ

役場は今年から毎週土曜日が

休みになります

昨年九月の定例議会で「田代町の休日を決める条例等」が改正され、平成五年一月から役場は、毎週土曜日を休みとする「週休二日制」を実施することになりました。しかし、出生届や婚姻届の受領、死亡届による埋火葬許可証の発行については、従来どおり取り扱います。今後とも公務効率の向上や行政サービスの改善には、一層の努力を払って参りますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

自動車の名義変更・

抹消登録は確実に

自動車税は、毎年4月1日現在で陸運支局に登録されている自動車の所有者、又は使用者に課税されます。自動車を他人に譲渡したり販売店に下取りに出しても移転登録が済んでいない場合は、いつまでも旧所有者に税金がかかってくるようになります。

まだ移転・抹消の登録が済んでいない方は、早めに必要な手続きをとってください。

▽問い合わせ先
・自動車の登録については
鹿兒島陸運支局

平成5年 田代町成人式

と き： 平成5年1月3日(日)

午前9時30分から

ところ： 田代町開発センター

※全員平服で参加しましょう

健康だより

「どうしたら禁煙できるのか?.....」

◎山ほどもある禁煙法
健康上の理由から医師に禁煙を命じられたり、何らかの理由で禁煙したい人々が応用できる禁煙法にはいろいろある。

禁煙法は原理的に二つあり、第一は自助法であり、第二は禁煙プログラムによる方法である。

前者には①自分自身に適した方法を編み出す。②指導書、レコード、カセットテープなどの禁煙手引きや、禁煙用の道具を利用する。③禁煙についてのアドバイスを受けたのち実行に移すの三つのやり方がある。

◎自力で、一気に、完全に禁煙に成功した人々の大多数は外部の機関や専門家の援助を受けることなく、全く自分の力でそれを実行しているといわれる。

私の周りには禁煙成功者たちもそれぞれ自分の決心と努力と、自ら選択した方法で禁煙に踏み切り、禁

煙を維持している例ばかりである。

自力で禁煙に成功した人のうち、「今でもたばこを吸いたい気持ちになる」ことがある人となし人の割合は、それぞれ55%と45%となっており、前者に属する人々が吸いたくなった時の対処法には「自分は禁煙したのだと自分に言い聞かせる」自己強化が最も高率な喫煙願望抑制法として挙げられている。

禁煙成功者の喫煙のやめ方を、禁煙の方法について、一度にきっぱりやめてしまふ(断煙型)方法か、徐々に本数を減らしてゆく(節煙型)方法か、どちらを選んだかをみると、断煙型がそれぞれ78.5%および90.9%、節煙型が13.9%及び6.5%で、断煙型が断然優勢である。◎禁煙すると太るというが禁煙によって喫煙に伴う手の動きや、唇への刺激がなくなるのとボタンをもてあそんだり、キャンディーやチューインガムを口にしてその代償にすることが少なくない。又食欲が進んでつい食べ

過ぎる事も加わって、禁煙持続当初は体重増加が生じやすいのは確かである。

◎禁煙のありがたさ

禁煙の効用として、第一回に紹介した「がん、虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患」の三大疾患群をはじめとする喫煙関連諸疾患の危険が、禁煙継続年数の長くなるのに従って非喫煙者の水準に近づくことが世界各国の研究結果から明らかにされているのみならず、比較的短時間のうちに、せき、たん、手足のしびれなどの自覚症状が顕著に軽減することも分かっている。

高合者であっても、喫煙習慣と関連した脳血流減少は、禁煙により月を追って回復していくことが報告されており、禁煙の効果は老若男女にかかわらず、さまざまな体の働きにも現れてくる。

平成五年一月二十五日から三十日までの夜六時から八時まで毎日禁煙教室を行います。その気の少しでもある方は今年こそはと参加して下さい。

人口のうごき

平成4年12月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,841	4	5		1	8
女	2,018	1	2	1	1	1
計	3,859	5	7	1	2	9
世帯数	1,448					△2

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

田代町社会福祉協議会
「篤志寄付金」

さきにご逝去されました方、ご遺族から香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の寄附を賜りました。

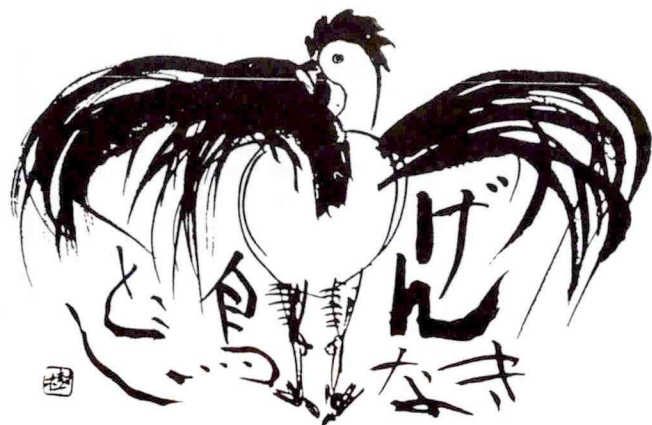
厚くお礼申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

元丸 チエ子様



今年 は 酉 年

平成 五年は酉年です。十二支の動物の中で、ただ一つの鳥類です。単に鳥というより、ニワトリ（鶏）を思い浮かべる人も多いようですが、ニワトリは人間と最もなじみ深い鳥といえます。



ニワトリといえば卵——日本人が一年間に食べる卵の数は、一人当たり三百一十個です（世界鶏卵協議会・一九九一年発表）。これはイスラエルに次いで、世界第二位です。ニワトリには、随分お世話になってるわけですね。

ニワトリのルーツは、インド、スマトラなどのジャングルに住む厄ケイ（野鶏）を改良したものとされています。それが、いまでは世界中のほとんどで飼育されています。

ニワトリ

が日本の文献に最初に登場するのは『古事記』です。天照大神が天の岩屋にこもったとき、その岩屋から出てもらうために、常世の長鳴鳥を鳴かせたことが記されています。東南アジアには、ニワトリが

太陽を呼び出すいろいろな話がありますが、日本もそうした流れをくんでいるのでしょう。

ニワトリには、卵用や肉用、卵肉兼用、観賞用などの種類があります。日本の観賞用のニワトリの中では、特に長尾鶏が世界的にも有名です。尾が十二メートルにもなるものもいます。また、鳴き声のよい東天紅は、張りのある声で二十秒近くも鳴き続けるものもいます。ほかに、声良鶏や唐丸など、鳴き声自慢がいろいろあります。

人間

と縁の深いニワトリですが、最近はその姿を見かけることが少なくなりました。昔は農家の庭先などで飼われていて、文字通りの「ニワトリ」でした。しかし、現在では企業の養鶏が中心となり、ケージでえさや水を与えて飼っていることが多いので、「ハコトリ」などといわれています。

今年も酉年。でも、初日に向かって時を告げる鳥の声で目を覚ますというのは、都会人にとっては無理なようです。

暮らしのポイント

漬物は、季節の野菜をおいしく食べる料理の一つです。ぬかみそ漬は、まず、ぬかと塩水で「ぬか床」を作りま

自慢の味・ぬかみそ漬

昆布や唐辛子が隠し味

卵の殻を数個分砕いて、布にくるんで入れておくと、酸の成分の炭酸カルシウムがぬかの乳酸に作用して、酸味を中和します。夏ミカンやレモンの皮と一緒に漬けると、酸味を消しますし、臭みをとる効果もあります。



教育だより

大原中学校

1・校内弁論大会
次代の高齢化社会を担ったつ青年の主張は、成人の日に放映されるが、ここ大原中では、十月二十三日午後、学級弁論会で選りぬかれた六名の弁士が熱弁をふるった。

演題は環境問題が多くとり上げられたが、中には最近の政治に関する弁論もあり、全校の注目をひいた。

2・文化祭
生徒会文化部が中心になって計画し、その練習・製作に励んできた大原中文化祭は、十一月十八日午後盛



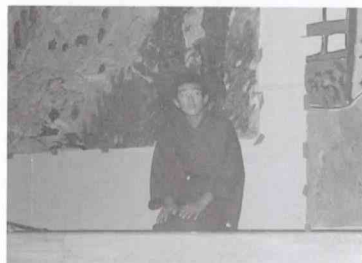
心を合わせて

大に行なわれた。生徒の音楽、舞台、展示の発表に加えて、父母の作品やバザー用品が出品された。

一年劇は、田代町の民話「福蔵塚」を脚本にしたもので、すでに前月の「たしろ」で紹介された。二年生は中国大陸の山奥でおこった人情味あふれる劇「泥棒仙人」を、三年生は「シンデレラ姫」からヒントを得た自作の「新デレラ」をおもしろく、おかしく演じた。

テーマを「宇宙」と定めた展示の部では、一年生が毛利さんの乗ったシャトルを、二年生は春、夏、秋、冬の星座を作成した。

今年から土曜開庁ですが、図書室（中央公民館）は、従来通り土曜午前中は開館します。



「福蔵塚」を演じる1年生



シャトルの完成を喜ぶ1年生



星座の下で、2年生

町学校保健研修会

田代小学校で開催

町学校保健会主催の研修会が、十一月二十日に開かれ、PTAや学校の関係者、約四十人が参加しました。会長（加治木田代中学校長）あいさつの後、「もりもりとなんでもたべる」じょうぶなは（稲村修治）など、二十五点の歯の健康に関する標語の紹介があり、その後田代小が学校の保健活動や子どもの様子を発表しました。

この日の講話は、学校薬剤師の川越俊作先生の「アレルギー」についてで、原因や治療法など詳しく教えていただきました。

虫歯予防に関心を

歯に関する調査から

田代町歯の健康啓発推進委員会が、このほど、子どもや親を対象にした調査の結果をまとめました。その一部を紹介します。

	幼稚園	小学校			中学校
		低	中	高	
① 夕食の後か歯を磨くか	73	54	54	50	45
② おやつの後か歯を磨くか	86	7	11	4	2
③ 小魚が好きか	64	63	55	51	40

（考察）①学年が上がるほど磨いていない ②幼稚園では先生と磨いている ③中学生に小魚が好きでない子が多い



歯の健康づくりに取り組む子どもたち

2、親の調査

①夕食のあと歯をみがくか。71%（子どもにも模範を示したいものです。）
②歯を丈夫にするために、食べ物や献立に気をつけているか。17%（少し気をつけている人が60%）
虫歯予防について、家庭でも話題にしましょう。

新春に思う

田代町の教育課題

田代町教育長 津曲 實雄



新しい年を迎え、町民の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

先ず、はじめに昨年を反省し、今年取り組むべき教育行政上の課題について述べてみたいと思います。

1、児童生徒の体力・体力の向上に努めていきたい。町内の児童・生徒の体力は、年々向上していますが、県下の同年令の児童生徒と比較してみると、もっと努力しなければいけないと思います。

しかし、昨年は、運動能力においては、著しい成長の跡を認めることができました。小学校では、町の水泳記録会や陸上記録会で多くの新記録をつくりました。また、中学校においても、

中体連主催の駅伝大会など一昨年に引き続き、優秀な成績をおさめることができました。田代町の子ども達も、やればできる能力を秘めていますので、今後も、学校・家族・地域の三者が一体となって、たくましい能力を伸ばしていきたいと思っています。

2、生涯学習時代にふさわしい学校づくりに努力していきたい。

新しい生涯学習社会に生きていくためには、学校で学ぶ児童生徒の時代から生涯学習の視点に立った指導が必要です。

昨年から小学校低学年で生活科の学習がはじまり、新しい学習方法が導入されました。また、中学校では、今年から選択教科の数と時間数が大きく変わってきます。このことは、新しい時代に生きる子ども達を主体的で個性豊かに育てようとするものです。

また、パソコンなどの情報機器の活用や国際化教育についてもさらに努力していきたいと思っています。

そのほか、人権教育をはじめ、道徳教育・進路指導・ボランティア活動など新しい視点から取り組むべき課題もたくさんあります。

3、新しい時代の課題を正しく把握して、積極的に対応していただきたいと思います。

昨年九月から、学校においても、月の第二土曜日が休業日となりました。この日は、子どもたちが自分の判断にもとづいて、自分の過ごし方を決めることになっていきます。子どもさんをお持ちのご家庭では、子どもたちの考え方を充分聴いてやり、親子がいっしょになって、体験し、それを機会に親子の心のきずなが深まれば有難いと思います。

※最後に、地区公民館と生涯学習について、お願いを申し上げます。

町民一人ひとりのための生涯学習を推進するために、地区公民館を中心に、それぞれの思いや願いを出し合い、それをまとめて、教育委員会にも、聴かせていただきたいと思います。

今、それぞれの地区公民館では組織づくりや公民館講座などについて、希望を取りまとめられているところかと思えます。生涯学習は、町民一人ひとりの学ぼうとする意欲がなければ、実を結んでいきません。生涯学習についてのご相談やご意見がありましたら、遠慮なくご連絡ください。なお、町の図書室は、町民のための学習センターです。個人やグループで遠慮なくお越しください。

◎教育改革

モニター募集

文部省では、全国で五百人の教育モニターを依頼し、今後の教育の施策にその意見を生かす計画です。応募資格は、教育改革に関心がありモニターとして熱意をもつ二十歳以上の方です。が、議員や公務員（教員は可）、行政相談員は対象外です。申込締切は、平成五年一月十四日（当日消印有効）、詳しくは、町教育委員会にお尋ねください。

町青年団

肝属を制覇！

去る12月6日（日）に行われた第25回肝属地区青年団協議会駅伝大会（内之浦町・高山町、12区間32.4km）で、田代町連合青年団が累計タイム二時間四分七秒で17年ぶりに優勝しました。出場選手は次の通りです。

（1区）井手口文明、（2区）※柳田正洋、（3区）宮園守、（4区）※袖山いつみ、（5区）平石勝洋、（6区）原沢 泉、（7区）野尻孝幸、（8区）※鶴田 明、（9区）山下智美、（10区）川路昭典、（11区）猪鹿倉幸二、（12区）上吹越寿次（※印は区間賞）

南園高樹監督のもと、今年は9月中旬から練習を始めました。団員のそれぞれ



激走2区、柳田選手



優勝はチームワークのたまもの！

が仕事で忙しい中、選手だけでなくみんなで頑張ってきました。青年団はこれからも町のために頑張ります。温かいご声援をお願いします。

町子ども会大会

盛大に開催さる

11月21日（土）に田代町子ども会大会が町中央公民館と町老人福祉センターで開催されました。

前半は活動発表、体験発表、後半はレクリエーション（小学校四年生までは映画、小学校高学年・中学生はゲームとマジック）が行われ、本町の小中学生約360名が参加しました。

前半は、会全体の進行等を大原中の3名の生徒（有村健志くん、井元 薫さん、



進行は私たちに任せ！



松井さんと楽しいひととき

田代中学校舎の大規模改造終わる



清潔な普通棟



明るい玄関

田代中学校は建築後25年以上経過しており、屋根、内外装等の損傷が激しく、平成4年7月18日から普通教室棟と管理棟（一八八㎡）の大規模な改造工事に着手しておりましたが、去る11月30日に完成しました。清潔で機能的な校舎で更に学習が進むことでしょう。

心の豊かさと生きがいを創る生涯学習

平成4年度 田代町生涯学習フェア

と き： 平成5年2月21日（日）

9：30～16：00

ところ： 田代町中央公民館ホール（開発センター）

内 容： 体験発表、活動発表、講演など

※みんなのフェアです。さそいあって参加してください。



（林家三平師匠のおくさん）

記念講演
「精一杯、明るく生きなさい」
講師 海老名香葉子先生

年末・年始の

新生活運動を進めよう

年末・年始を迎えるにあたり、身近な家庭や職場、地域社会における日頃の生活を反省し、住民自らの創意によって新しい時代に即した生活様式を確立する必要があります。

そこで、省資源・省エネルギーをはじめ、年末・年始にふさわしいあいさつの励行、国旗の掲揚等生活全般を見直し、物と心の調和のとれた生活を推進することがとても大切になってきます。

実践事項

- (1) あいさつをする運動
- (2) 国旗を掲げる運動
- (3) 資源とエネルギーを大切に作る運動
- (4) 交通ルールをまもり自然や生活環境をきれいに作る運動
- (5) 郷土の伝承文化に対する理解を深める運動
- (6) 各集落の実情に即した具体的な実践事項を設定し、実践しましょう。

平成 4 年主な出来事



1. 平成 4 年度成人式 新成人45名の門出を祝う 1 月 3 日
2. 町子ども会大会開催 子ども会員育成者400名参加 1 月18日
(平成 3 年度)
3. 田代町青年・知覧町青年交流会 2 月 8 日
4. 「みんなで参加，ふるさとおこし」田代町で知事対話 2 月13日
5. 平成 3 年度生涯学習推進町民大会 橋幸夫氏講演 2 月23日
6. 町制施行30周年記念町民の森（内ノ牧町有林）造成
「いちょう」1,000本植樹 2 月29日
7. デイサービスセンター南松園完成 3 月 1 日
8. 役場消防隊最新型消防自動車配備 3 月 3 日
9. 田代町弓道 4 ケ町大会で優勝 3 月 7 日
10. 長寿を考える集い開催 3 月14日
11. 故迫田和也氏勲五等瑞宝章受賞伝達 3 月25日
12. 5 地区に公民館が設置される 3 月27日
13. 花瀬公園祭り盛大に行われる 4 月 5 日
14. 林業構造改善事業（総合型）認定 5 月 1 日
15. 木場忠さん緑化功労で農林水産大臣から表彰を受ける 5 月10日
16. 郡民体育大会女子バレーボール準優勝 6 月14日
17. 県指定区の健康啓発推進事業開始 6 月23日
18. 田代町献血推進協議会厚生大臣から感謝状を受ける 7 月15日
19. 上原真地氏30年ぶりブラジルから一時帰国
社会福祉協議会へ善意の寄附 8 月22日
20. 田代二オの旅（南日本こども大使）韓国交流の旅 7 月28日から 8 月 1 日
21. 大原地区夏祭り盛大に開催 8 月15日
22. 東中郡婦人防火クラブに日本消防協会から小型
消防ポンプが贈られる 8 月25日
23. 田代町健康まつり大会、健康づくりシンポジウム開催 9 月20日
24. 中野利三郎さん全国保護司連盟会長賞受賞 9 月22日
25. 第24回町民運動会 10 月10日
26. 国道448号新田内ノ牧工区開通 10 月14日
27. 右田始氏自治功労で自治大臣から表彰を受ける 10 月21日
28. 町教育委員会教育長に津曲實雄氏再任 10 月24日
29. 第 5 回全国福祉祭山梨大会に町老人会ゲートボールに県代表として参加（8 人） 11 月 2 日
30. 平成 4 年度田代町振興大会、町民文化祭開催 11 月 3 日
31. 新村進さんご夫妻献穀で天皇，皇后両陛下に御会釈 11 月 5 日
32. 中原操氏体育功労で文部大臣賞受賞 11 月11日
33. 生涯学習まちづくり「肝属シンポジウム」開催される 11 月18日
34. 町子ども会大会子ども会員，育成者400名参加（平成 4 年度）
11 月21日
35. 木場忠さん林産部門で総理大臣，農林水産大臣から
表彰を受ける 11 月23日
36. 田代町中学校大規模改造工事完成（普通教室棟） 11 月30日
37. 肝属地区青年団駅伝大会で17年振り田代町青年団優勝 12 月10日
38. 山村活力増進活動山村交流で首都圏の若者男女 4 名来町農作業等体験 12 月17日～12 月20日
39. 第 2 回サザンナイトオートシネマ開催 12 月19日から12 月20日
※上柴立集会施設，柴立集会施設，折小野集会施設完成（平成 4 年）
※荒茶共販額 5 億円突破、葉たばこ 2 億 2 千万円余販売（平成 4 年）

